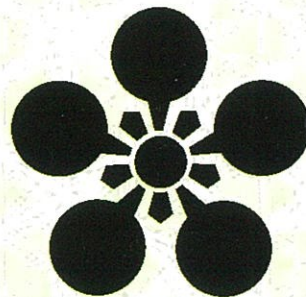


石川県と縁(ゆかり)の地を結ぶセミナー

第4回 高野山と加賀藩前田家とのつながり



高野山真言宗(総本山金剛峯寺)の宗紋
五三桐 豊臣秀吉拝領の青巖寺の寺紋
三頭右巴 鎮守・丹生郡比売神社の定紋



加賀藩前田家家紋
加賀梅鉢紋

場所 石川県立能楽堂(本館)

日時 2025(令和7)年10月25日(土) 13:00~



撮影者:堀 誠一郎

石川県立能楽堂 能舞台(令和5年 国登録有形文化財)

京都西本願寺北能舞台(国宝)を模した総檜造りである。
昭和7年に建てられた金沢能楽堂本舞台を移築したもので、
昭和47年に、全国初の独立した県立能楽堂として開館した。

主催 石川県と縁(ゆかり)の地を結ぶ会(旧豪姫つばき会)
〔問い合わせ〕090-6270-0342(岡崎)

後援 石川県 金沢市 北國新聞社 北陸中日新聞社 加能人社
助成 公益財団法人いしかわ県民文化振興基金



石川県と縁(ゆかり)の地を結ぶセミナー

第4回 高野山と加賀藩前田家とのつながり

会場：石川県立能楽堂(本館)
(金沢市石引4丁目18番3号)

日時：2025年10月25日(土)

参加費：事前決済 3,000円 事前決済期限10月5日
当日 3,500円 現金 クレジット PayPay 支払可
大学生以下無料



申し込みは↑こちら
問い合わせ
嶋崎 076-285-5009

12:30 受付

司会進行 まるいち さとみ 丸一 都美

13:00 能楽レクチャー 「能“高野物狂”の心」
実演 舞囃子「高野物狂」金沢能楽会



講師 やぶ としひこ 藪 俊彦 (宝生流能楽師)

経歴 1944年 石川県に生まれる。
1963年 金沢大学教育学部入学。佐野安彦師、佐野正治師に師事
1981年 金沢市の姉妹都市ベルギー・ゲント市で友好親善の公演に初参加
2001年 国の重要無形文化財総合指定者に認定
主な舞台 ビエンナーレいしかわ「南水ひとり語りと加賀宝生の世界」で能「山姥」シテ
能「船弁慶」後の出留の伝シテで人間国宝の野村萬師、宝生閑師と共演
受賞 1996年:金沢市文化活動賞、2010年:金沢市文化賞、2013年:石川県文化功労賞

13:30 『空海の母への想いを伝える“女人高野”』

創作日本舞踊孝藤流 家元 孝藤 まりこ

総師範 孝藤 左近



14:00 挨拶 石川県と縁(ゆかり)の地を結ぶ会 代表 岡崎 恵子

14:05 来賓挨拶 石川県議会議員 太郎田 真理

14:10 I部『空海(弘法大師)の生涯と高野山の歴史』



I・II部講師 きのした ひろよし 木下 浩良 (清浄心院高野山文化歴史研究所 所長)

経歴 1960年 福岡県柳川市に生まれる。
1983年 高野山大学文学部人文学科国史学専攻を卒業
高野山大学総合学術機構課長。名誉教授の日野西真定師に師事
2021年 高野山大学を定年退職。高野山ガイドとして活動
役職 清浄心院高野山文化歴史研究所所長、高野山大学密教文化研究所 受託研究員
高野山大学及び神戸学院大学非常勤講師、本遺産女人高野調査委員
高野七口再生保存会顧問、伊都・高野山ユネスコ協会会長
活動 主な著書『戦国武将と高野山奥の院—石塔の銘文を読む』(朱鷺書房)他多数
NHK『プラタモリ』等でテレビに出演。高野山に関する講演会を多数開催

— 休憩 —

15:10 来賓挨拶 金沢市議会議員 横越 徹

15:15 II部『高野山と加賀藩前田家との深いつながり』

16:10 質疑応答

16:15 終了

ZOOM配信担当 HAKUSAN TRAVEL 代表 嶋崎 英之